

しみずっ子だより

「安心な学校」

校長 志佐 光正



たいへん蒸し暑い日が続いていきます。教室の中は、子どもたちも先生も汗をふきふき一学期のまとめの学習に取り組んでいます。

この春、今年も南の国からはるばる海を渡ってツバメが、職員玄関の軒下に巣を作りました。何度も出たり入ったりしながら泥や枯れ草を運び、時間をかけて完成させました。六月中旬になると二羽のツバメが顔をのぞかせたので卵を抱き始めたと微笑ましく思っていました。

六月末の土曜日の昼過ぎのことです。学校に用事があった職員が、地面に落ちて崩れた巣とそのそばに割れた小さな卵を見つけました。その話を聞き、たいへん悲しい気持ちになりました。七月六日（火）の朝会で子どもたちにもこの話をしました。子どもたちの心にもこの事実が伝わり、静かに聞いてくれました。

私たちは、「安心・安全な学校」をめざしています。「安心」とは、どんなことなのでしょう。子どもたち一人一人が互いに認め合い、大切にされ学校が安心して過ごせる居場所になっているということであると思います。安心できる環境は、心が満たされ、自然に笑顔がわいてきます。子どもたちが、笑顔で登校し、また笑顔で下校する、そんな学校が安心して過ごせる学校です。それは、学校の動植物も安心して生きていける環境です。ツバメの巣をきっかけに、小さな命も大切にしたい、心豊かな子どもたちが安心して過ごせる学校にしていきたいと思っています。

発行責任者
清水小学校 校長
志佐 光正
児童数
925名
7月1日現在

清水ドリムフェスティバル
児童会担当 関根 瞳

「つくろうよ 今年一番の思い出を」をスローガンに、今年のフェスティバルも大盛況のうちに終わりました。しみずっ子の発想力が光る場面を数多く見ることができ、笑顔あふれる一日となりました。来校してくださった皆様方、ありがとうございました。



防犯教室

安全担当

中 彩



六月二十二日の二・三校時、体育館で「防犯教室」が開かれました。今回は、セコムの方に来ていただき、犯罪に巻き込まれないためにはどうすればよいのかを学びました。

また先日、全児童が持ち歩けるようにと新たに防犯ブザーを配布しました。自らの命を守るためにも、外出の際は、防犯ブザーを携帯するようご家庭でも呼びかけをお願いします。



あみーごす

●タイヤの遊具さん
長い間ありがとうございました
今から三十年ほど前の昭和五十六年度の卒業生に寄贈していただいたものです。今まで多くの子どもたちがこの遊具で楽しく遊んできました。でも長い年月によって鉄の部分の腐食が進み、タイヤも古くなって安全に遊べない状態になってしまいました。三月号でもお知らせいたしました。三月号でもお知らせいたしました。昭和五十六年度卒業生のみなさん、そして設置工事などでご協力いただきました皆様からお礼申し上げます。たくさんの子どもたちが楽しく遊んだことを、校庭のヒマラヤスギがいつまでも覚えていてくれると思います。長い間、本当にありがとうございました。ありがとうございました。



●用水路に転落防止のふた

反田方面からの通水路の途中にある用水路に転落防止の工事をしていただきました。ご協力くださいました地域の方や関係の皆様さまありがとうございます。子どもたちは、安心して登校しています。



●ちくちく隊の新作

「スイミー」「十匹のかえるのたなばたまつり」が完成し、展示されています。

●除草作業について

夏休み中の八月二十一日（土）にPTA除草作業があります。校地内の除草・伐採と側溝掃除をする予定です。（雨天決行）
きれいになった学校で二学期を迎えたいと思います。多くの保護者の皆様、男性の方のご協力をお願いします。

お知らせ

一学期の教育活動から

一年生 こうえんたんけん

生活科の学習で公園探検に出かけました。二回に分け、地域の「及川球技場」「山の上剣公園」「中村公園」「白根公園」に行きました。遊具で遊んだり、広場で思いきり走ったりして楽しく過ごすことができました。歩いていく途中には、たくさんの交差点がありますが、しつかりと左右を見て、安全に気をつけて渡ることができました。



二年生 ドリームフェスティバル

各クラスの工夫を凝らしたお店に感激し、大はしやぎをしながら回っていました。

三組 K S

六月十七日に、一年生といっしょにゴーストハウスに入りました。

ゴーストハウスで、かべにもトンネルの上にも手があったので、ギヤアギヤアさけんで、出たときは足がガタガタふるえて、もうしんぞうがとまるほどこわかったです。

三年生 養蚕農家見学

三年生は、地域に残っている「行事」や「産業」などについて学習しています。

清水小学校の近くに貴重な「養蚕農家」があることを知り、見学をさせていただきました。子ども達はたくさんの蚕に驚き、桑を食べている音にも耳を傾け、農家の方のお話に真剣にメモを取っていました。

学校にも蚕を分けていただき繭を作る姿や蚕蛾を近くで観察することができました。



四年生 高齢者の方とふれあい活動

高齢者の方には日頃からいろいろな場面でお世話になっております。七月七日には、学校までおいでいただき、昔の遊びを教えていただきました。普段は、ゲームに夢中になっている子どもたちも、いつもとはちがう遊びに熱中しました。

三組 F U

わたしは、今日お年寄りの方々にあやとりを教えていただきました。最初はやるのが速くて追いついていけませんでしたが、でも後から追いついてできるようになりました。その後は、教えていただいたやり方で友達とあやとりをしました。お年寄りの方々や友達とも一緒にいろいろなあやとりが出来て楽しかったです。また教えてほしいなと思いました。

五年生 自然教室・総合学習

七沢自然教室では、保全センターでのフィールドワークやピザ作りを行いました。集団活動を通して、友達との絆も深まったように感じられます。

総合学習では、田植えを行いました。初めての経験で慣れない手つきながらも、楽しそうに取り組む様子が見られました。

三組 A R

わたしが一番楽しかったことはピザ作りです。生地をこねたことも、楽しかったけど、食材を切ったことが本当に楽しかったです。とてもおいしかったです。また絶対に食べたいです。

六年生 総合的な学習の時間

六年生は、総合的な学習の時間を通して、「安心・安全な学校作り」や「ISS認定取得」について考え、学習を進めてきました。調べ学習や体験学習をしながら、社会科の大仏の学習に併せて、校庭に大きな大仏を描いたり、国語の俳句・短歌の学習と併せて、「安心・安全」をキーワードにした川柳づくりなどを行いました。

これらの学習から、学校生活におけるケガ防止など、強く意識するようになりました。今後は、学習をさらに深め、安心・安全な心を育むことを目指して行きたいと思えます。

夏休みの過ごし方

児童指導担当 千田 正孝

夏休みはとても期間の長い休みで、今年は四十日間あります。子どもたちにとって、クラスの友だちと離れて寂しい反面、ワクワクするようなそんな夏休みだと思います。

長期休業は自分の時間、自由な時間がたくさんあります。興味のあることにチャレンジしたり、毎日の生活を自分で計画し実行できる良い機会です。事故に遭わず、健康な毎日を送れるよう夏休み前に家族で話し合っておきましょう。

【夏休みの過ごし方 五か条】

- ① 早寝早起きを心がける
- ② 健康な体をつくる
- ③ 事故にあわない
- ④ 遊び方を考える
- ⑤ 毎日計画的に勉強する

- ① 長期休業中は生活リズムが乱れがちになります。早寝早起き、お手伝いなど、毎日の生活リズムを整えておきましょう。
- ② 手洗いうがいを慣行したり、栄養のバランスをとったり、適度な運動をしたりして健康な体づくりに努めましょう。また、検診で指摘された疾患等は治しておきましょう。
- ③ 子ども自身が安全意識を高め、交通ルールを守らなくてはなりません。遊びに行く時は、「防犯ブザー携帯」「行き先・帰る時刻・遊ぶ友だちを伝える」これらのことを徹底していきましょう。
- ④ 子ども達だけで大きな川など危険性のある場所で遊んだり、エアガンなど危険な玩具を買ったりしてはいけません。また、お金に関わる事件・カード、ゲームソフト等の売買や盗難など、トラブルに巻き込まれないよう十分注意をしましょう。
- ⑤ 一学期の復習や自由研究など、長い休みにしかできない勉強を計画的に、毎日続けていきましょう。

